

特定母樹採種園造成等支援事業費補助金交付要綱

制 定 令和4年5月6日付第202200030962号
最終改正 令和7年10月8日付第202500137577号
鳥取県農林水産部長通知

(趣旨)

第1条 この要綱は、鳥取県補助金等交付規則（昭和32年鳥取県規則第22号。以下「規則」という。）第4条の規定に基づき、特定母樹採種園造成等支援事業費補助金（以下「本補助金」という。）の交付について、規則並びに林業関係事業補助金等交付要綱（昭和47年8月11日47林野政第640号農林事務次官依命通知）、森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策補助金等交付等要綱（平成30年3月30日29林政政第893号農林水産事務次官依命通知）、花粉の少ない苗木の生産拡大地方公共団体事業費補助金交付等要綱（令和6年12月17日付け6林整研第204号農林水産事務次官依命通知）、優良種苗生産推進対策実施要領（令和2年3月27日元林整整第1120号林野庁長官通知）及び花粉の少ない苗木の生産拡大実施要領（令和6年12月17日付け6林整研第216号林野庁長官通知）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(交付目的)

第2条 本補助金は、特定母樹の種苗の安定供給を図るため、採種園の造成等を支援することを目的として交付する。

(補助金の交付)

第3条 県は、前条の目的の達成に資するため、別表の1の項に掲げる事業（以下「補助事業」という。）を行う同表の2の項に掲げる者に対し、予算の範囲内で本補助金を交付する。

2 本補助金の額は、補助事業に要する別表の3の項に掲げる経費（以下「補助対象経費」という。）の額（仕入控除税額（補助対象経費に含まれる消費税及び地方消費税に相当する額のうち、消費税法（昭和63年法律第108号）に規定する仕入れに係る消費税額として控除できる部分の金額と、当該金額に地方税法（昭和25年法律第226号）に規定する地方消費税率を乗じて得た金額の合計額をいう。以下同じ。）を除く。）に、同表の4の項により算定した額以下とする。

3 本補助金の交付を受ける者（以下「補助事業者」という。）は、鳥取県産業振興条例（平成23年鳥取県条例第68号）の趣旨を踏まえ、補助事業の実施に当たっては、県内事業者（同条例第2条第1項の「事業者」の定義に従い、県内に本店、支店、営業所、事務所その他名称の如何を問わず、事業を行うために必要な施設を有して事業活動を行う者をいう。以下同じ。）への発注に努めなければならない。

(交付申請の時期等)

第4条 本補助金の交付申請は、森林づくり推進課長又は地方事務所（東部農林事務所八頭事務所、中部総合事務所、西部総合事務所及び西部総合事務所日野振興センターをいう。以下同じ。）の長が別に定める日までに行わなければならない。

2 規則第5条の申請書に添付すべき同条第1号及び第2号に掲げる書類は、それぞれ様式第1号及び様式第2号によるものとする。

3 規則第5条の申請書には、前項に定めるもののほか、環境負荷低減チェックシート（様式第3号）を添付するものとする。

4 本補助金の交付を受けようとする者は、当該者が免税事業者、簡易課税事業者、特定収入割合が5パーセントを超えている公益法人等（消費税法別表第3に掲げる法人及び同法第2条第7項に規定する人格のない社団等をいう。）若しくは地方公共団体であるとき、又は仕入控除税額が明らかでないときは、前条第2項の規定にかかわらず、仕入控除税額を含む補助対象経費の額に補助率を

- 乗じて得た額（以下「仕入控除税額を含む額」という。）の範囲内で交付申請をすることができる。
- 5 本補助金の交付を受けようとする者は、事業の効果的な実施を図る上で、緊急かつやむを得ない事情がある場合は、交付申請に当たり、様式第4号に定める交付決定前着手届を添付するものとする。

（交付決定の時期等）

- 第5条 本補助金の交付決定は、原則として、交付申請を受けた日から20日以内に行うものとする。
- 2 本補助金の交付決定通知は、様式第5号によるものとする。
- 3 知事は、前条第4項の規定による申請を受けたときは、第3条第2項の規定にかかわらず、仕入控除税額を含む額の範囲内で交付決定をすることができる。この場合においては、仕入控除税額が明らかになった後、速やかに、交付決定に係る本補助金の額（変更された場合は、当該変更後の額。以下「交付決定額」という。）から当該仕入控除税額に対応する額を減額するものとする。
- 4 知事が、やむを得ない事由により早期に交付決定をすることが困難な場合において、交付目的を達成するために必要があると認めたときは、本補助金の交付見込額を様式第6号により内示することができる。

（承認を要しない変更）

- 第6条 規則第12条第1項の知事が別に定める変更は、別表の6の項に定めるもの以外の変更とする。
- 2 第5条第1項の規定は、変更等の承認について準用する。

（実績報告の時期等）

- 第7条 規則第17条第1項の規定による報告（以下「実績報告」という。）は、次に掲げる日までに行わなければならない。
- （1）規則第17条第1項第1号又は第2号の場合にあっては、補助事業の完了又は中止若しくは廃止の日から30日を経過する日
- （2）規則第17条第1項第3号の場合にあっては、補助事業等の完了予定年月日の属する年度の翌年度の4月5日
- 2 規則第17条第1項の報告書に添付すべき同条第2項第1号及び第2号に掲げる書類は、それぞれ様式第1号及び様式第2号によるものとする。
- 3 規則第17条第1項の報告書には、前項に定めるもののほか、環境負荷低減チェックシート（様式第3号）を添付するものとする。
- 4 補助事業者は、実績報告に当たり、その時点で明らかになっている仕入控除税額（以下「実績報告控除税額」という。）が交付決定額に係る仕入控除税額（以下「交付決定控除税額」という。）を超える場合は、補助対象経費の額からその超える額を控除して報告しなければならない。
- 5 補助事業者は、実績報告の後に、申告により仕入控除税額が確定した場合において、その額が実績報告控除税額（交付決定控除税額が実績報告控除税額を超えるときは、当該交付決定控除税額）を超えるときは、様式第7号により速やかに知事に報告し、知事の返還命令を受けて、その超える額に対応する額を県に返還しなければならない。

（額の確定）

- 第8条 規則第18条第1項に規定する額の確定については、様式第8号により通知するものとする。

（財産の処分制限）

- 第9条 規則第25条第2項ただし書の期間は、減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号）に定める耐用年数に相当する期間（同令に定めのない財産については、農林水産部長が別に定める期間）とする。
- 2 規則第25条第2項第4号の財産は、次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 取得価格又は効用の増加価格が50万円以上の機械及び器具
- (2) その他交付目的を達成するため処分を制限する必要があるものとして知事が別に定めるもの

(補助金の概算払)

第10条 補助事業者は、概算払による本補助金の支払を求めるときは、様式第9号により知事へ概算払請求を行うものとする。

2 規則第19条の規定による概算払は、様式第10号によりあらかじめ通知して行うものとする。

(提出書類の部数等)

第11条 規則及びこの要綱の規定により知事又は地方事務所の長に提出する書類は正本1部とし、提出先は次の表のとおりとする。

事業実施主体の事業所の所在地	提出先
県外	農林水産部森林・林業振興局森林づくり推進課
県内	事業実施場所を所管する地方事務所

(雑則)

第12条 規則及びこの要綱に定めるもののほか、本補助金の交付について必要な事項は、農林水産部長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和4年5月6日から施行する。

附 則

この改正は、令和5年4月10日から施行し、令和5年度事業から適用する。

附 則

この改正は、令和6年1月4日から施行し、令和5年度11月補正予算により実施する事業から適用する。

附 則

この改正は、令和7年4月1日から施行し、令和6年度11月補正予算により実施する事業から適用する。

附 則

この改正は、令和7年10月8日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に掲げる事業から適用する。

- (1) 第1条の規定による改正後の特定母樹採種園造成等支援事業費補助金交付要綱（以下「要綱」という。）の規定 令和6年度11月補正予算により実施する事業
- (2) 第2条の規定による改正後の要綱の規定 令和7年度9月補正予算により実施する事業

別表（第3条、第6条関係）

1 対象事業	特定母樹採種園造成等支援事業																																
2 事業実施主体	認定特定増殖事業者（森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法（平成20年法律第32号）に規定する認定特定増殖事業者をいう。）																																
3 補助対象経費 ^{(注)2}	特定母樹の苗木生産を目的とした採種（穂）園造成・改良等に要する次の経費 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技術者給</td> <td>専門的知識・技術を有する者に対して支払う実働に応じた対価とする。</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td>本事業の補助的業務（資料整理、事業資料の収集等）に従事するために臨時的に雇用した者に対して支払う実働に応じた対価とする。 単価については、事業実施主体内の賃金支給規則や国の規則等の妥当な根拠に基づき業務の内容に応じた単価を設定することとする。</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>資料収集、各種調査、検討会、指導、講師派遣、打合せ等の実施に必要な交通費</td> </tr> <tr> <td>謝金</td> <td>企画、専門知識の提供、資料の整理・収集等について協力を得た事業実施主体以外の者に対する謝礼に必要な経費 単価については、妥当な根拠に基づき業務の内容に応じた単価を設定することとする。</td> </tr> <tr> <td>造成費</td> <td>支障木伐採・処理、整地・地拵え、採種（穂）木生産、採種（穂）木購入、植付け、系統表示、造成地の簡易防護柵、閉鎖型採種園用設備等の採種園等の造成に係る経費 ただし、下刈り等の管理作業に係る経費は除く。</td> </tr> <tr> <td>改良費</td> <td>既存採種（穂）木伐採・処理、地拵え、採種（穂）木生産、採種（穂）木購入、植付、系統表示、改良地の簡易防護柵、閉鎖型採種園用設備等の採種園等の改良に係る経費 ただし、下刈り等の管理作業に係る経費は除く。</td> </tr> <tr> <td>機能向上費</td> <td>枯死した採種（穂）木伐採・処理、整地・地拵え、採種（穂）木購入、植付け、採種（穂）木に適した樹型誘導のための整枝剪定、追肥、耕耘、着花促進、日照確保のための支障木や張枝の除去、追加的な簡易防護柵、防風雪施設、防護林造成等、採種園等の機能向上に要する経費</td> </tr> <tr> <td>資機材費</td> <td>除草機材、種子乾燥機、種子保管庫等の種穂採取を効率化するために必要な資機材を整備するための経費^{(注)1}</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>消耗品費、印刷製本費、資材購入費、燃料費等の経費</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>通信運搬費、試験・検査費、その他雑役務費</td> </tr> <tr> <td>委託費</td> <td>事業の一部分を他の民間団体・企業等の第三者に委託するための経費^{(注)1}</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>車両、器具機械の借上げや物品等の使用に必要な経費</td> </tr> <tr> <td>資料購入費</td> <td>専門誌、書籍等の購入に必要な経費</td> </tr> <tr> <td>教材費</td> <td>教材等の作成・購入に必要な経費</td> </tr> <tr> <td>講習費</td> <td>技能講習等の受講に必要な経費</td> </tr> </tbody> </table>	区分	内容	技術者給	専門的知識・技術を有する者に対して支払う実働に応じた対価とする。	賃金	本事業の補助的業務（資料整理、事業資料の収集等）に従事するために臨時的に雇用した者に対して支払う実働に応じた対価とする。 単価については、事業実施主体内の賃金支給規則や国の規則等の妥当な根拠に基づき業務の内容に応じた単価を設定することとする。	旅費	資料収集、各種調査、検討会、指導、講師派遣、打合せ等の実施に必要な交通費	謝金	企画、専門知識の提供、資料の整理・収集等について協力を得た事業実施主体以外の者に対する謝礼に必要な経費 単価については、妥当な根拠に基づき業務の内容に応じた単価を設定することとする。	造成費	支障木伐採・処理、整地・地拵え、採種（穂）木生産、採種（穂）木購入、植付け、系統表示、造成地の簡易防護柵、閉鎖型採種園用設備等の採種園等の造成に係る経費 ただし、下刈り等の管理作業に係る経費は除く。	改良費	既存採種（穂）木伐採・処理、地拵え、採種（穂）木生産、採種（穂）木購入、植付、系統表示、改良地の簡易防護柵、閉鎖型採種園用設備等の採種園等の改良に係る経費 ただし、下刈り等の管理作業に係る経費は除く。	機能向上費	枯死した採種（穂）木伐採・処理、整地・地拵え、採種（穂）木購入、植付け、採種（穂）木に適した樹型誘導のための整枝剪定、追肥、耕耘、着花促進、日照確保のための支障木や張枝の除去、追加的な簡易防護柵、防風雪施設、防護林造成等、採種園等の機能向上に要する経費	資機材費	除草機材、種子乾燥機、種子保管庫等の種穂採取を効率化するために必要な資機材を整備するための経費 ^{(注)1}	需用費	消耗品費、印刷製本費、資材購入費、燃料費等の経費	役務費	通信運搬費、試験・検査費、その他雑役務費	委託費	事業の一部分を他の民間団体・企業等の第三者に委託するための経費 ^{(注)1}	使用料及び賃借料	車両、器具機械の借上げや物品等の使用に必要な経費	資料購入費	専門誌、書籍等の購入に必要な経費	教材費	教材等の作成・購入に必要な経費	講習費	技能講習等の受講に必要な経費
区分	内容																																
技術者給	専門的知識・技術を有する者に対して支払う実働に応じた対価とする。																																
賃金	本事業の補助的業務（資料整理、事業資料の収集等）に従事するために臨時的に雇用した者に対して支払う実働に応じた対価とする。 単価については、事業実施主体内の賃金支給規則や国の規則等の妥当な根拠に基づき業務の内容に応じた単価を設定することとする。																																
旅費	資料収集、各種調査、検討会、指導、講師派遣、打合せ等の実施に必要な交通費																																
謝金	企画、専門知識の提供、資料の整理・収集等について協力を得た事業実施主体以外の者に対する謝礼に必要な経費 単価については、妥当な根拠に基づき業務の内容に応じた単価を設定することとする。																																
造成費	支障木伐採・処理、整地・地拵え、採種（穂）木生産、採種（穂）木購入、植付け、系統表示、造成地の簡易防護柵、閉鎖型採種園用設備等の採種園等の造成に係る経費 ただし、下刈り等の管理作業に係る経費は除く。																																
改良費	既存採種（穂）木伐採・処理、地拵え、採種（穂）木生産、採種（穂）木購入、植付、系統表示、改良地の簡易防護柵、閉鎖型採種園用設備等の採種園等の改良に係る経費 ただし、下刈り等の管理作業に係る経費は除く。																																
機能向上費	枯死した採種（穂）木伐採・処理、整地・地拵え、採種（穂）木購入、植付け、採種（穂）木に適した樹型誘導のための整枝剪定、追肥、耕耘、着花促進、日照確保のための支障木や張枝の除去、追加的な簡易防護柵、防風雪施設、防護林造成等、採種園等の機能向上に要する経費																																
資機材費	除草機材、種子乾燥機、種子保管庫等の種穂採取を効率化するために必要な資機材を整備するための経費 ^{(注)1}																																
需用費	消耗品費、印刷製本費、資材購入費、燃料費等の経費																																
役務費	通信運搬費、試験・検査費、その他雑役務費																																
委託費	事業の一部分を他の民間団体・企業等の第三者に委託するための経費 ^{(注)1}																																
使用料及び賃借料	車両、器具機械の借上げや物品等の使用に必要な経費																																
資料購入費	専門誌、書籍等の購入に必要な経費																																
教材費	教材等の作成・購入に必要な経費																																
講習費	技能講習等の受講に必要な経費																																
4 補助金額	定額 ・閉鎖型採種園の場合は、母樹50本当たり700万円 ・開放型採種園等の場合は、母樹50本当たり75万円																																
5 補助要件	・母樹を100本以上造成すること。 ・他の都道府県の種穂の不足時に対応するための移出調整種穂として、並年の年間生産量の3%に相当する種穂を1年以上保管又は他の都道府県へ配布を行うこと。																																
6 重要な変更	(1) 補助金額の30%を超える減 (2) 補助金額の増																																

(注) 1 補助対象経費のうち工事請負費及び委託費については、県内事業者が施行し、又は実施したものに限る。ただし、やむを得ない事情で県内事業者への発注が困難と県が認めた場合については、この限りでない。

(注) 2 各補助対象経費には、賃金に係る社会保険料（賃金支弁者の負担分に限る。）を含むものとする。

様式第1号（第4条、第7条関係）

（元号） 年度特定母樹採種園造成等支援事業計画（報告）書

1 事業の目的

2 事業実施期間

年 月 日～ 年 月 日

3 事業の内容及び経費の配分

（1）総括表

（単位：円）

補助事業名	事業費 (A)+(B)+(C)	負担区分			備考
		補助金 (A)	自己資金 (B)	その他 (C)	
特定母樹採種園造成等支援事業					
合計					

（2）事業計画（報告）書

樹種	整備計画（実績）			事業地	事業内容	事業費 (円)	補助金 (円)	備考
	採種園の種類	面積(ha)	採種(穂)木 植栽本数(本)					
合計								

注：1 樹種ごとに記載すること。

2 採種(穂)園の種類は、「採種(穂)園」、「ミニチュア採種園」、又は「閉鎖型採種園」等を記載すること。

3 事業内容は、整地・地拵え・植付け等の具体的な内容を記載すること。

4 添付資料

（1）事業地の位置図

（2）事業費の算出根拠となる資料

様式第2号（第4条、第7条関係）

（元号） 年度特定母樹採種園造成等支援事業収支予算（決算）書

1 収入

（単位：円）

区分	予算額 (A)	精算額 (B)	差引増減 (B) - (A)	備考
県補助金				
自己資金				
その他				
合計				

2 支出

（単位：円）

区分	予算額 (A)	精算額 (B)	差引増減 (B) - (A)	備考
技術者給				
賃金				
旅費				
造成・改良費				
機能向上費				
消耗品費				
役務費				
委託費				
使用料及び賃借料				
合計				

注) 収支計画の場合は、精算額、差引増減の記入を要しない。

3 他の補助金の活用の有無（有 ・ 無）

※他の補助金の活用の有無について、「有」、「無」のいずれかに○をすること。

※「有」の場合は、活用する補助金名やその事業内容、当該補助金に係る問い合わせ先（補助金を所管している部署名や団体名及び連絡先）を備考欄に記載すること。

4 消費税の取扱い（一般課税事業者 ・ 簡易課税事業者 ・ 免税事業者）

※消費税の取扱いについて、「一般課税事業者」、「簡易課税事業者」、「免税事業者」のいずれかに○をすること。

様式第3号（第4条、第7条関係）

環境負荷低減チェックシート		
事業実施主体名		
提出時期	申請時（します） <input type="checkbox"/>	報告時（しました） <input type="checkbox"/>
記入日	令和	年 月 日

	チェック	(1) エネルギーの節約
①	<input type="checkbox"/>	オフィスや車両・機械等の電気・燃料の使用状況の記録・保存に努める
②	<input type="checkbox"/>	省エネを意識し、不必要・非効率なエネルギー消費をしないこと（照明、空調、ウォームビズ・クールビズ、燃費効率のよい機械の利用等）を検討
③	<input type="checkbox"/>	環境負荷低減に配慮した商品、原料等の調達を検討

	チェック	(2) 環境関係法令の遵守等
①	<input type="checkbox"/>	みどりの食料システム戦略の理解
②	<input type="checkbox"/>	関係法令の遵守
③	<input type="checkbox"/>	環境配慮の取組方針の策定や研修の実施に努める
④	<input type="checkbox"/>	※機械等を扱う事業者である場合（該当しない <input type="checkbox"/>) 機械等の適切な整備と管理に努める
⑤	<input type="checkbox"/>	正しい知識に基づく作業安全に努める

注：(2)の④に該当しない場合は、「該当しない」にチェックしてください。
この場合、当該項目のチェック欄へのチェックは不要です。

様式第4号（第4条関係）

番
（元号） 年 月 日

様

職 氏 名

（元号） 年度特定母樹採種園造成等支援事業交付決定前着手届

（元号） 年 月 日付で補助金交付申請を行った標記事業について、特定母樹採種園造成等支援事業費補助金交付要綱第4条第5項の規定に基づき、別記条件を了承のうえ、補助金交付決定前に着手したいので、下記のとおり届け出ます。

記

- 1 事業名
- 2 事業費
- 3 着手予定年月日
- 4 交付決定前の着手を必要とする理由

（別記条件）

- 1 交付決定を受けるまでの期間に天災等の理由によって、実施した施策に損失を生じた場合は、これらの損失は、事業実施主体が負担すること。
- 2 交付決定を受けた交付金額が交付申請額又は交付申請予定額に達しない場合においても、異議を申し立てないこと。
- 3 当該施策については、着手から交付決定を受ける期間内においては、計画の変更は行わないこと。

様

職 氏 名

（元号） 年度特定母樹採種園造成等支援事業費補助金交付決定通知書

（元号） 年 月 日付の申請書（以下「申請書」という。）で申請のあった特定母樹採種園造成等支援事業費補助金（以下「本補助金」という。）については、鳥取県補助金等交付規則（昭和32年鳥取県規則第22号。以下「規則」という。）第6条第1項の規定に基づき、下記のとおり交付することに決定したので、規則第8条第1項の規定により通知します。

記

1 対象事業

本補助金の対象事業は、「特定母樹採種園造成等支援事業」とし、その内容は、申請書に記載のとおりとする。

2 交付決定額等

本補助金の算定基準額及び交付決定額は、次のとおりとする。ただし、対象事業の内容が変更された場合におけるそれらの額については、別に通知するところによる。

（1）算定基準額	金	円
（2）交付決定額	金	円

3 経費の配分

本補助金の補助対象経費の配分及びその配分された経費に対応する交付決定額は、申請書に記載のとおりとする。ただし、対象事業の内容が変更された場合においては、別に通知するところによる。

4 交付額の確定

本補助金の額の確定は、補助対象経費の実績額について、特定母樹採種園造成等支援事業費補助金交付要綱（令和4年5月6日付第202200030962号農林水産部長通知。以下「要綱」という。）第3条第2項及び第5条第3項の規定を適用して算定した額と、前記2の（2）の交付決定額（変更された場合は、変更後の額とする。）のいずれか低い額により行う。

5 補助規程の遵守

本補助金の收受及び使用、補助事業の遂行等に当たっては、規則及び要綱のほか補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令（昭和30年政令第255号）、農林畜水産業関係補助金等交付規則（昭和31年農林省令第18号）、森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策補助金等交付等要綱（平成30年3月30日29林政第893号農林水産事務次官依命通知）、林業関係事業補助金等交付要綱（昭和47年8月11日47林野政第640号農林事務次官依命通知）、花粉の少ない苗木の生産拡大地方公共団体事業費補助金交付等要綱（令和6年12月17日付け6林整研第204号農林水産事務次官依命通知）、優良種苗生産推進対策実施要領（令和2年3月27日元林整整第1120号林野庁長官通知）、花粉の少ない苗木の生産

拡大実施要領（令和6年12月17日付け6林整研第216号林野庁長官通知）の規定に従わなければならない。

- 6 本補助金の交付を受けた者は、次の条件を遵守すること。
 - (1) 事業主体は、本事業により造成した採種園等について、台帳を作成し、造成後も適正に管理するものとする。改良の場合は、台帳を更新し、適正に管理するものとする。
また、採種園等の造成・改良に用いる原種は厳正に管理するものとする。
 - (2) 事業実施主体は、研究機関等から本事業の施行地や実施内容について調査、資料提供等の申し入れがあった場合は応じるものとする。
 - (3) 事業実施主体は、本事業についての帳簿を備え、他の経理と区分して本事業の収入及び支出を記載し、本補助金の使途を明らかにしておかなければならない。
 - (4) 事業実施主体は、前号の収入及び支出について、その支出内容の証拠書類又は証拠物を整備して前項の帳簿とともに本事業の完了の日の属する年度の翌年度から起算して5年間整備保管しなければならない。
 - (5) 本事業により取得し、又は効用の増加した財産のうち不動産及びその従物並びに1件当たりの取得価格50万円以上のものについて、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号。以下「大蔵省令」という。）に定められている耐用年数に相当する期間（ただし、大蔵省令に期間の定めがない財産については期間の定めなく。）においては、知事の承認を受けずに、補助金等交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、又は担保に供してはならない。
ただし、本事業を行うに当たって、補助対象物件を担保に供し、自己資金の全部又は一部を国が行っている制度融資から融資を受ける場合であって、かつ、その内容（金融機関名、制度融資名、融資を受けようとする金額、償還年数その他必要な事項）が国への補助金等交付申請書に記載してある場合は、次の条件により知事による補助金の交付の決定をもって知事の承認を受けたものとする。
ア 担保権が実行される場合は、残存簿価又は時価評価額のいずれか高い金額に補助率等を乗じた金額を納付すること。
イ 本来の補助目的の遂行に影響を及ぼさないこと。
 - (6) 前号による知事の承認に際し、承認に係る取得財産等の残存価値相当額又は処分により得られた収入の全部又は一部を知事に納付させることがあること。
 - (7) 本補助金により財産を取得した事業実施主体は、森林関係法令への違反等その行為態様や社会的影響等を勘案して不適切だと判断される行為を行ってはならない。
 - (8) 本事業を遂行するため、売買、請負その他の契約をする場合は、一般の競争に付さなければならない。ただし、本事業の運営上、一般の競争に付すことが困難又は不相当である場合は、指名競争に付し、又は随意契約によることができる。
 - (9) 本事業の実施に当たり、前号により契約をしようとする場合は、当該契約に係る入札等に参加しようとする者に対し、別記様式による契約に係る指名停止等に関する申立書の提出を求め、当該申立書の提出のない者については、入札等に参加させてはならない。

別記様式

契約に係る指名停止等に関する申立書

年 月 日

〔事業実施主体〕 様

所 在 地
商号又は名称
代表者氏名

当社は、貴殿発注の〇〇契約の競争参加又は申込みに当たって、当該契約の履行地域について、現在、農林水産省の機関及び鳥取県から〇〇契約に係る指名停止の措置等を受けていないことを申し立てます。

また、この申立てが虚偽であることにより当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

- (注) 1 〇〇には、「工事請負」、「物品・役務」のいずれかを記載すること。
- 2 この申立書において、農林水産省の機関とは、本省内局及び外局、施設等機関、地方支分部局並びに農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センターをいう。
- 3 「指名停止の措置等」の「等」は、公正取引委員会から、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律に基づく排除措置命令又は課徴金納付命令を受けた者であって、その命令の同一事案において他者が農林水産省の機関から履行地域における指名停止措置を受けた場合の当該公正取引委員会からの命令をいう。
- なお、当該命令を受けた日から、他者が受けた指名停止の期間を考慮した妥当な期間を経過した場合は、この限りでない。

様式第6号（第5条関係）

番
(元号) 年 月 日

様

職 氏 名

(元号) 年度特定母樹採種園造成等支援事業費補助金の交付内示について（通知）

(元号) 年 月 日付第 号で申請のあった特定母樹採種園造成等支援事業費補助金については、下記のとおり交付される見込みですので、事業の遂行に支障のないようにしてください。

なお、この補助金の交付見込額は、鳥取県補助金等交付規則（昭和32年鳥取県規則第22号）第6条の規定に基づく交付決定において変更されることがあるとともに、交付されないことがあります。

記

(単位：円)

事業名	事業費	補助金	備考
特定母樹採種園造成等 支援事業			

様式第7号（第7条関係）

番 号
(元号) 年 月 日

様

住 所
名 称
代表者

(元号) 年度特定母樹採種園造成等支援事業仕入控除税額確定報告書

(元号) 年 月 日付第 号により交付決定のあった補助金について、消費税仕入控除税額が確定したので、特定母樹採種園造成等支援事業費補助金交付要綱第7条第5項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

- | | | |
|---|---|---|
| 1 補助金の額の確定
(年 月 日付第 号による額の確定通知額) | 金 | 円 |
| 2 上記に係る補助対象経費の額 | 金 | 円 |
| 3 実績報告控除税額
(交付決定控除税額が実績報告控除税額を越えるときは、
当該交付決定控除税額) | 金 | 円 |
| 4 消費税及び地方消費税額の申告により確定した仕入控除税額
(仕入控除税額に補助率を乗じて得た金額) | 金 | 円 |
| 5 補助金返還相当額 $(4 - 3) \times (1 \div 2)$ | 金 | 円 |

(注) 積算内訳書、その他参考となる資料を添付すること。

様式第8号（第8条関係）

番 号
（元号） 年 月 日

様

職 氏 名

（元号） 年度特定母樹採種園造成等支援事業費補助金の額の確定について（通知）

（元号） 年 月 日付第 号で交付決定し、（元号） 年 月 日付けで実績報告書が提出された本補助金について、下記のとおり補助金の額の確定をいたしましたので、鳥取県補助金等交付規則（昭和32年鳥取県規則第22号）第18条第1項の規定により通知します。

記

（単位：円）

交付決定額	確定額	既支払額	精算払額

様式第9号（第10条関係）

番 号
（元号） 年 月 日

様

職 氏 名

（元号） 年度特定母樹採種園造成等支援事業費補助金の概算払について（依頼）

（元号） 年 月 日付第 号による交付決定に係る補助金の概算払について、特定母樹採種園造成等支援事業費補助金交付要綱第10条第1項の規定により請求します。

記

1 請求額

（単位：円）

交付決定額	既概算払受領額	今回概算払請求額

2 添付書類

事業の実施状況及び支出状況が確認できる書類

様式第10号（第10条関係）

番 号
（元号） 年 月 日

様

職 氏 名

（元号） 年度特定母樹採種園造成等支援事業費補助金の概算払について（通知）

（元号） 年 月 日付第 号で交付決定したこの補助金について、下記のとおり概算払しますので、鳥取県補助金等交付規則（昭和32年鳥取県規則第22号）第19条の規定により通知します。

記

1 補助金概算払額

（単位：円）

交付決定額	既概算払額	今回概算払額	概算払額計	残額

2 概算払の時期

（元号） 年 月